

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
井原市井原町順三
会長／中島順三

《編集》 倉掛自治連合会
倉掛少年団育成部
倉掛少年分団

森さん退任

〈民生児童委員〉

後任に渡辺悦己さん

四期十二年、倉掛地区民生児童委員として顕著な活動を続けてきた倉掛十八―二組の森梅子さん(写真左)が十一月末日、惜しまれつつ退任の時を迎える。



森さんが同委員に就任したのは平成元年秋。以後、社会奉仕と基本的人権を念頭に置き、一貫して倉掛地区の福祉向上に努めた。

近年、社会は高齢化が進み、独居老人や要介護者の抱える問題や悩み相談なども増加。積極的且つ献身的な志を要する民生児童委員の役割は、地域からの信頼も求められた。

森さんはこの様な状況に対応すべく、普段から視野

福祉功労賞を受賞

倉掛の中島知子さん

井原市福祉大会がアクティブライフ井原の大ホールで十一月十五日に開かれ、倉掛の中島知子さん(十五―二組)ら個人四人が福祉功労賞、出部ボランティアなど二団体が善意賞を受賞した。

中島さんは福祉全般に深い理解を示し、関係組織の役員として中心的役割を果たしてきた。地域の高齢者支援などにも積極的なこと

で知られる。受賞した中島さんは「障害を持つ人と地域の温かい交流を願っている。私たちの活動によって、より多くの方々の理解が深まれば嬉しい」と話している。

この大会は社会福祉の向

を広げ、健康や教育の相談などにも気軽に応じ、温かい心と細やかな配慮で事に当たってきた。

勉強になりました

森さんは「私自身が勉強



後任の渡辺悦己さん

「ご苦勞様でした」

民生児童委員 川相肇さんの話

「森さんには随分お世話になりました。民生児童委員の仕事は地味で限度がない。最近は個人が抱える悩みや問題も複雑多様化しており、女性委員の果たす役割は非常に大きいものがあります。家の事をしながら地域福祉に関わる訳ですか

をさせて頂いた。地域と福祉機関のパイプ役として、大過なく終えることができた。倉掛の皆様には大変お世話になりました」と活動を振り返っている。

有り難う “愛の灯”

街路灯のスポンサー公表

倉掛地区内の公衆街路灯は水銀灯を含め約七十カ所。このほど自治連合会の調査

で、その電気料を負担して

公衆街路灯スポンサー

- 〔防犯灯〕 山田武志、黒田敬一、渡辺研一、三佐藤郁一、山岡一盛、藤井保、大掛久保、安原陽子、12-2組、13組
- 〔水銀灯〕 伊塔カヤ、タカカ井中、小
- 〔産業〕 藤原石、代藤井、佐藤北、足倉、井新
- 〔商業〕 藤原晶、石井晴、藤井ほ、佐藤北、足倉、井新
- 〔個人〕 山田武志、黒田敬一、渡辺研一、三佐藤郁一、山岡一盛、藤井保、大掛久保、安原陽子、12-2組、13組
- 〔その他〕 山田武志、黒田敬一、渡辺研一、三佐藤郁一、山岡一盛、藤井保、大掛久保、安原陽子、12-2組、13組

後任の渡辺悦己さん(倉掛十五―一組)は「可能な範囲で自分なりに努力したいと思っている。倉掛地区の皆様には宜しくお願います」と述べている。

いる世帯などが分かった。防犯灯(蛍光灯)の年間電気料は一灯約三千円。複数契約者も多い。全灯を自治会予算で賄うには年間約十七万円が必要となる。

スポンサーの一人は「地域に役立っていることは嬉しいが、時々代わって欲しい気持ち」と話す。

自治連合会は本紙を通して、各スポンサーの善意を公表すべきと判断した。

火の用心!

119の日から多忙夜警活動&廃品回収

倉掛少年団



11月9日から三日間、防火を呼びかけた少年団

倉掛少年団が「119の日」にちなみ十一月九日から三日間、育成会員らと夜警活動を行った。

初日の九日午後七時から

郷社で出発式が行われ、学校関係者をはじめ消防団、自治連合会、婦人会など地域の関係役員が出席した。来賓挨拶で井原小学校三

宅隆校長らが「夜間の活動ご苦勞様です。怖い火事を起こさないためにも頑張ってください」と激励。

このあと団員らは二班に分かれて出発。拍子木を打ちながら「さんまを焼いても家焼くな」、「今捨てたタバコの温度が700度」などと、大きな声で防火を呼び掛けた。

倉掛少年団の5年浜田憲彦君は「夜警をしたことで、火事がなくなればいいなと思った」と話していた。

最終日の午前中には廃品回収も行われ、団員や育成会員にとって朝に夕に多忙な一日だった。

新しいみこしで「わっしょい」



親子で力を合わせて頑張る倉掛少年団のみこし

住民からお祝いの声

井原町秋祭りが十月二十八日執り行われ、町内には少年団と消防団の新しいみこしが繰り出し賑わった。御祓いを済ませた少年団みこしは午前九時半に郷社を出発。自治連合会役員ら六人も鬼に扮してみこしの列に加わった。本格造りでやや重さが増したみこしを担ぐ子供たちは、「わっしょい、わっしょい」と元気一杯。地区住民らも「おめでとー」と笑顔で出迎えた。

一行はフレスタ西の西田

雨の秋まつり

倉掛少年団 町内練り歩く 5部消防団



軽くなったみこしで練り歩く第5部消防団員ら

工務店事務所にも立ち寄り、みこしの製作者西田勝太郎さんに「有り難うございました」と一礼。「頑張ってた」と、子供たちを見送

防犯灯を20基

小田川土手へ近々設置

井原町の新橋から大正橋までの小田川土手に、防犯灯（公衆街路灯）二十基が設置される。

倉掛地内へも要望の声

これは早朝や夜間、土手道を通行する住民が多いことから市が計画したもの。来年三月末までには工事を

終える見通し。

健康志向が高まった昭和

60年頃から土手では、ウ

オーキングに励んだりラジオ体操に行き来する人々が急増。しかし、冬場の早朝

っている。

市建設課では「大正橋から南側への設置予定は今のところ無い」としている。

この計画を知った倉掛地区民からは「なぜ上の方だけなのか。大正橋と日芳橋間も同じ土手道。せめて数カ所は設置して欲しい」との要望が高まっている。

の正体は…



森兼孝治部長は「宮永前部長のお陰で担ぎ手の負担が軽減された。倉掛夏目地区の皆様にはお心遣いを頂き誠に有り難うございました」と礼を述べていた。

った西田さんは「お礼を言われて胸が熱くなった」と目を細めていた。少年団みこしは、昼過ぎに郷社へ戻った。倉掛少年団の5年倉橋絵里奈さんは「みこしはとっても重たかったけど、とっても楽しかったです」。ま

た、育成会の松井憲司会長は「新しいみこしを自分たちが初めて担ぐんだ、という気持ちで雨が降る中を頑張り通した」と団員らを讃えた。一方、第5部消防団のみこしは少ない団員で担げるようにと、宮永一彦前部長が建築業の腕を生かし大幅な軽量化を図った。消防団員らは管轄する倉掛、夏目地区を細かく練り歩き、午後三時頃郷社へ戻った。

倉掛善戦及ばず

井原町秋季球技大会

井原地区球技大会が十一月四日開かれた。



今季好調だった倉掛ソフトボールチームは1回戦で向町と対戦し、初回に許した得点が響き惜敗した。倉掛バレーボールチームも猪清及び夏目と熱戦を繰り広げたが、勝運に恵まれなかった。

「楽しいチームに入って」倉掛バレーボール同好会の渡辺照子代表は「倉掛は選手が少ない。楽しく活動していますので気軽にご参加を」と、同好会への入会を呼び掛けている。

倉掛ほっと情報

- 倉掛16組川田昭典さんの長男剛さん(28)が1年半の司法修習を終え、晴れて弁護士の資格を取得。東京麹町のさくら共同法律事務所での新たな人生のスタートを切った。
- 往時の鬼まつり復活を願い「鬼の会」を作る噂が倉掛の中で持ち上がっている。事の震源地は今年の秋祭りで鬼に扮した有志らの反省会。「あなたは面が無くても大丈夫」などと冗談を言い合っているうちについ本気になったらしい。さて、来年は何匹の鬼が出没するか楽しみに待ちたい。
- 「物騒な世の中ですね」と街角での会話。井原市では今月14日から24日までの11日間に、道路脇の枯れ葉などを焼く不審火が実に25件も発生し、消防関係者はてんてこまい。井原分団第5部も23日から三日間、特別夜警活動を行った。第5部の森兼部長は「もう無茶苦茶です」と眉をひそめている。

- ◆ 行事予定 ◆
- 12/2 倉掛少年団クリスマス会
 - 12/8 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
 - 12/1 自治連合会防犯パトロール
 - 12/9 全国健康マラソン井原大会
 - 12/16 井原後月連合駅伝競走大会
 - 12/21 市内小中学校終業式
 - 12/23 全国高校駅伝競走大会 ◎興譲館女子チーム出場
 - 12/28 官公庁御用納め
 - 12/27-28 消防団第5部夜警活動
 - 平成14年(2002年)
 - 1/1 郷社新年祈願祭(3日まで)
 - 1/4 官公庁御用始め
 - 1/8 市内小中学校始業式
 - 1/12 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
 - 1/13 井原市成人式(市民会館)
 - 1/20 井原市消防出初式
 - 2/3 倉掛少年団レクリエーション
 - 3/3 倉掛少年団入退団式